

アプリケーションカタログ メッキ液中の金

関連業界	:	非鉄金属
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	-

1. 概要

メッキ液中の金の定量は、試料に純水、ヨウ化カリウムと酢酸を加えた後、5分間放置し、電位差滴定法により0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液で当量点まで滴定します。当量点は、滴定曲線上の最大変曲点です。

チオ硫酸ナトリウム溶液の滴定量から、金の濃度を算出します。

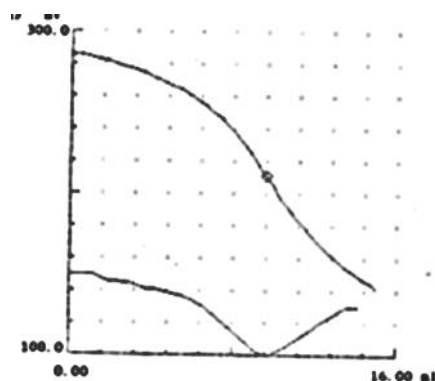
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	白金電極 セラミック型比較電極

3. 試薬

滴定液	:	0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液 (f=1.006)
溶媒	:	純水
添加試薬	:	ヨウ化カリウム, 酢酸 (1 + 1) 溶液

4. 測定例



—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Gold concentration (g/L)
1	1.0350	9.6303	9.2107
2			
平均 偏差 RSD (%)			

—滴定曲線—

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>